

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	競技スポーツ指導者の顕彰等	担当部局庁	スポーツ・青少年局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和43年度	担当課室	競技スポーツ課	競技スポーツ課長 声立 訓			
会計区分	一般会計	施策名	XI-3 我が国の国際競技力の向上				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会優秀者顕彰規程第2条、スポーツ功労者顕彰規程第2条	関係する計画、 通知等	スポーツ振興基本計画 (平成12年9月13日策定、平成18年9月21日改定) スポーツ立国戦略 (平成22年8月26日策定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	(1)競技スポーツ指導者等の顕彰 オリンピック等国際競技大会において優秀な成果を挙げた者等に対する表彰制度を設け、競技スポーツの振興に資する。 (2)委託事業選定委員会等 競技力の向上に関する事業の実施にあたって、効果的な事業内容の検討を行う。 (3)日韓スポーツ交流実務者協議会の開催 2002年FIFAワールドカップ日韓大会を契機に両国政府が発足した「日韓共同未来プロジェクト」により、日韓両国のスポーツ・青少年交流を推進する。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	(1)競技スポーツ指導者等の顕彰 オリンピック等国際競技大会において優秀な成果を挙げるなど、我が国のスポーツの振興に貢献した者等に対し、文部科学大臣が表彰を行う。 (2)委託事業選定委員会等 我が国の国際競技力の向上及びスポーツの振興のための事業を委託するにあたり、外部有識者で構成するスポーツ・青少年局競技スポーツ課委託事業選定委員会を設置し、調査審議することにより、最適な事業を選定する。 (3)日韓スポーツ交流実務者協議会の開催 日韓両国のスポーツ担当行政機関及びスポーツ団体の実務担当者により、日韓共同未来プロジェクトにおける日韓スポーツ交流の推進方策について協議する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	132	39	16	14	14
		補正予算	0	△25	0		
		繰越し等	0	0	0		
		計	132	14	16	14	14
	執行額	66	18	13			
執行率(%)	50.0%	128.6%	81.3%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は、顕彰式典及び会議開催のための本省執行経費であり、定量的な指標にはなじまない。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	—
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	競技スポーツ指導者等の顕彰式の開催	活動実績 (当初見込み)	回	2	1	2	— (3) (3)
	委託事業選定委員会の開催		回	7	8	9	— (14) (8)
	日韓スポーツ交流実務者協議会の開催		回	0	2	1	— (2) (2)
単位当たり コスト	顕彰式1回当たりのコスト (5,087,705円/1回)	算出根拠	単位当たりコスト=平成22年度競技スポーツ指導者等の顕彰執行額(10,175,410円)/顕彰式開催数(2回)				
	委託事業選定委員会等1回当たりのコスト (197,047円/1回)		単位当たりコスト=平成22年度委託事業選定委員会等執行額(1,773,420円)/選定委員会等開催数(9回)				
	日韓スポーツ交流実務者協議会1回当たりのコスト (854,310円/1回)		単位当たりコスト=平成22年度日韓スポーツ交流実務者協議会の開催執行額(854,310円)/協議会開催数(1回)				

平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由
	諸謝金、委員等旅費	1百万円	1百万円	
	職員旅費	2百万円	2百万円	
	庁費	11百万円	11百万円	
	計	14百万円	14百万円	

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・予算の執行については、見積もり合わせ等により適正な執行に努めるとともに、複数の事業をまとめて選定委員会を実施することにより、コスト削減に努めている。</p> <p>・活動実績については、当初見込みを下回っているが、予算執行における効率化を図ったものであり、国際競技大会において優秀な成果を挙げた者に対しては漏れなく顕彰しており、委託事業選定委員会においては、全ての委託事業について事業内容の検討を実施することができたため、当初の目標は達成している。</p> <p>・事業成果としては、国際競技大会において優秀な成果を挙げた者に対して顕彰することにより、競技スポーツの振興に寄与し、また、日韓スポーツ交流実務者協議会の開催により、日韓両国のスポーツ・青少年交流の推進に寄与した。</p>		

予算監視・効率化チームの所見	
一部改善	<p>1. 事業評価の観点： この事業は、オリンピック等国際競技大会において優秀な成果を挙げた者等に対する表彰制度を設け、競技スポーツの振興に資することを目的とした事業であり、事業開始から44年以上経過していることから長期継続事業や予算執行の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見： この事業は長期継続事業であることから引き続き事業内容を精査するとともに毎年予算の縮減を図っているが、平成24年度概算要求においても、引き続き事業の効果的・効率的な実施を目指し、コスト縮減等に努めるべきである。</p>

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)

平成22年度実績を踏まえ、積算単価や会議開催数の見直しを行い、概算要求に▲0.769百万円反映した。

補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)

A. 文部科学省 13百万円

庁費	8百万円	} を含む
外国旅費	0.9百万円	
諸謝金	0.7百万円	
職員旅費	0.7百万円	
委員等旅費	0.7百万円	

- (1) 競技スポーツ指導者等の顕彰
オリンピック等国際競技大会において優秀な成果を挙げるなど、我が国のスポーツの振興に貢献した者等に対し、文部科学大臣が表彰を行う。
- (2) 委託事業選定委員会等
我が国の国際競技力の向上及びスポーツの振興のための事業を委託するにあたり、外部有識者で構成するスポーツ・青少年局競技スポーツ課委託事業選定委員会を設置し、調査審議することにより、最適な事業を選定する。
- (3) 日韓スポーツ交流実務者協議会の開催
日韓両国のスポーツ担当行政機関及びスポーツ団体の実務担当者により、日韓共同未来プロジェクトにおける日韓スポーツ交流の推進方策について協議する。

↓
【随意契約・請負】

B. (株)天賞堂 2百万円

〔スポーツ功労者顕彰に係る記念品
(銀杯)の作成。〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	顕彰式等記念写真、記念品(フォトフレーム)作成、会場借料、表彰状印刷	8			
外国旅費	日韓スポーツ交流実務者協議会出席	1			
諸謝金	選定委員謝金、アドバイザーボード委員謝金	1			
その他	選定委員旅費、アドバイザーボード委員旅費等	1			
計		11	計		0
B.(株)天賞堂			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
制作費	記念品(銀杯)作成	2			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

B.スポーツ功労者顕彰に係る記念品作成

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)天賞堂	スポーツ功労者顕彰に係る記念品(銀杯)の作成。		2 随意契約	—